

【2025年版】

とも
男女に働き 輝きのある暮らし

農山漁村パートナーシップの推進

－ 農山漁村の男女共同参画社会の発展に向けて －



農山漁村パートナーシップ推進宮城県大会 宣言

農山漁村に住む人、関わる人みんなが、自分らしく輝けるよう

このつながりの中で生きていることに感謝し、互いを認め合うことを宣言します。

宮 城 県

「農山漁村女性の日」(※)の趣旨に基づき開催している農山漁村パートナーシップ推進宮城県大会は、今年で30回目という節目の年を迎えました。

第1回開催当初は数人だった県内の女性農業委員は、現在93名（全体の21.4%）に増加しましたが、目標の30%には達していません。皆様のご尽力により着実に農山漁村における女性の活躍の場は増えておりますが、まだまだ十分とは言えない状況です。

農林水産業や農山漁村のさらなる活性化を図るためには、農林水産業・農山漁村の重要な担い手である女性の皆様が一層活躍できる環境整備を進めることが必要不可欠です。

県では、女性農林漁業者の皆様が、その持てる力を十分に発揮し、評価され、方針決定過程に参画できる社会の実現に向けて、県民の皆様、関係事業者及び各種団体等の皆様と連携しながら、引き続き男女共同参画に関する施策を積極的に推進してまいります。

宮城県知事 村井 嘉浩

※農林水産省では、農山漁村の各地域における女性の地位・役割の向上、社会生活参加などを目指して、昭和63年に3月10日を「農山漁村婦人の日」として制定。平成11年に「婦人」を「女性」と言い換え、「農山漁村女性の日」として制定しています。毎年、3月を中心に全国各地で関連イベントが実施されています。

「農山漁村女性の日」が3月10日とされたのは、3月上旬は農林漁業の作業が比較的少なく、女性たちが学習や話し合いをするために適切な時期であることに加え、農山漁村女性の3つの能力（知恵・技・経験）をトータル（10）に発揮して欲しいという関係者の願いも込められています。

2025 農山漁村パートナーシップ推進 宮城県大会

日 時

令和7年1月16日(木) 午前11時から午後3時まで

(1) 女性農業者とそれを支えるみんなの販売会・交流会 午前11時から午後1時まで

(2) 農山漁村パートナーシップ推進宮城県大会 午後1時30分から午後3時まで

場 所

夢メッセみやぎ本館会議棟 大ホール

(〒983-0001 仙台市宮城野区港3丁目1-7)

主 催：宮城県

共 催：宮城県生活研究グループ連絡協議会、JAみやぎ女性組織協議会、宮城県漁協女性部連絡協議会、みやぎアグリレディス21

後 援：(16団体、順不同)

東北農政局、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会宮城県本部、全国共済農業協同組合連合会宮城県本部、宮城県漁業協同組合、宮城県森林組合連合会、一般社団法人宮城県農業会議、宮城県農業士会、宮城県漁業士会、宮城県林業研究会連絡協議会、宮城県認定農業者組織連絡協議会、みやぎの女性活躍推進連携会議、宮城県土地改良事業団体連合会、みやぎ水土里ネット女性の会

プログラム

(1) 女性農業者とそれを支えるみんなの販売会・交流会

●共催組織等の紹介ブース

●女性生産者等販売会

(2) 農山漁村パートナーシップ推進宮城県大会

13:30~13:40 宮城県農業・農村女性活躍表彰 表彰式

13:40~13:45 開会、挨拶

13:45~13:50 来賓祝辞、紹介

13:50~14:00 農山漁村女性の活動事例発表

14:00~15:00 講演

15:00 閉会

1

男女共同参画の指標（農林水産分野）

(1) 男女共同参画基本計画（第5次）（令和2年閣議決定）

成果目標の動向より抜粋

令和6（2024）年4月30日時点

項 目	目標値(2025年)	計画策定時の数値	最新値
農業委員に占める女性の割合			
女性委員が登用されていない組織数	0	273/1,703 (2019年度)	243/1,697 (2022年10月)
農業委員に占める女性の割合	20%(早期)、更に30%を目指す	12.1% (2019年度)	12.6% (2022年10月)
農業協同組合の役員に占める女性の割合			
女性役員が登用されていない組織数	0	107/639 (2018年度)	84/553 (2022年度)
役員に占める女性の割合	10%(早期)、更に15%を目指す	8.0% (2018年度)	9.6% (2022年度)
土地改良区（土地改良区連合を含む。）の理事に占める女性の割合			
女性理事が登用されていない組織数	0	3,737/3,900 (2016年度)	3,911/4,199 (2022年度)
理事に占める女性の割合	10%	0.6% (2016年度)	0.8% (2022年度)
認定農業者数に占める女性の割合	5.5%	4.8% (2019年3月)	5.3% (2023年3月)
家族経営協定の締結数	70,000件	58,799件 (2019年度)	60,020件 (2022年度)

(2) 宮城県男女共同参画基本計画（第4次）

及び宮城県が農林水産分野で令和4年5月に設定した目標値（＊）

成果目標の動向

令和6（2024）年12月1日時点

項 目	目標値(期限)	計画策定時の数値	最新値
家族経営協定の締結数	770件 (2025年度)	736件 (2020年度)	838件 (2024年3月)
農業委員に占める女性の割合	30% (2025年度)	16.4% (2019年度)	21.4% (2024年12月)
農業協同組合の役員に占める女性の割合（＊）	15% (2025年度)	9.8% (2021年度)	11.6% (2024年7月)

2

データで見る宮城県の女性の活躍

(1) 家族経営協定締結数

都道府県名	令和5年度末 (R6.3.31)	令和4年度末 (R5.3.31)	増減
青森県	1,347 戸	1,331 戸	16
岩手県	2,050 戸	2,022 戸	28
宮城県	838 戸	812 戸	26
秋田県	686 戸	683 戸	3
山形県	1,069 戸	1,062 戸	7
福島県	1,105 戸	1,085 戸	20
東北計	7,095 戸	6,995 戸	100



農業委員会への女性委員登用促進要請
(R6宮城県町村会)

(2) JA運営への参画（目標値は第30回JA全国大会決議）

項 目	実績(R6.7.31現在)	目 標
正組合員に占める女性の割合	27.9%	30%以上
総代に占める女性の割合	10.0%	15%以上
役員に占める女性の割合	11.6%	15%以上

(3) 農業委員会への参画（みやぎアグリレディス 21）

項 目	実績(R6.12.31現在)	目 標
女性の農業委員数	93人/434人	2人以上/1農業委員会
女性の農業委員の割合	21.4%	30.0%
女性の農地利用最適化推進委員数	23人/378人	2人以上/1農業委員会

(4) 漁協運営への参画（宮城県漁業協同組合）

項 目	令和5年度実績	令和6年度実績 (R6.11.30現在)	目標値
漁協正組合員に占める女性の人数	37人/2,262人	35人/2,196人	120人
漁協正組合員に占める女性の割合	1.63%	1.59%	5.0%
漁協支所運営委員に占める女性の人数	1人/283人	1人/282人	3人

3 農山漁村女性の経営参画・社会参画に向けて

(1) 家族経営協定を締結しよう

家族経営協定とは、経営方針や役割分担、働きやすい就業環境などについて家族で話し合い、決定して文書化、実践するものです。

締結により家族それぞれが責任ある経営者として位置づけられ、認定農業者への共同申請、農業者年金保険料に国の補助が受けられる制度があります。各農業改良普及センターで相談を受け付けています。

(2) あなたも農業委員会で活躍しませんか？

農業委員会は、女性が活躍できる組織です。各市町村の農業委員会では、将来にわたって地域農業を継承していくため、農地の集積・集約化や遊休農地の解消、新規就農の促進等の「農地と担い手」対策に取り組んでいます。農業委員会の事業には、女性を含めた、地域農業に関わる多様な人々の視点や意見を取り入れることが不可欠で、農業委員、農地利用最適化推進委員は、地域の農業者と行政の橋渡し役です。

農業委員・農地利用最適化推進委員の任期は3年で、身分は特別職の地方公務員です。市町村ごとに募集の時期は異なり、市町村広報やホームページ等で広く募集されています。宮城県内の農業委員会女性委員組織「みやぎアグリレディス21」では、女性農業者や地域農政に関心のある女性が市町村への農業委員・農地利用最適化推進委員の応募に際して、推薦や応募の支援を行っていますので御相談ください。



みやぎアグリレディス21地区別懇談会
(R6県北地区)

(3) 認定農業者の共同申請をしよう

認定農業者制度は、農業経営改善計画を市町村が基本構想に照らして認定するものです。効率的かつ安定的な経営を目指す方なら、性別、専業・兼業の別等を問わず、どなたでも認定を受けることができます。また、家族経営協定を締結すれば、家族の全員が認定を受ける対象となります。

認定農業者になると、その計画達成に向けて、長期・低利の資金の借入や農地のあっせんなどの様々な支援を受けることができます。

4

農山漁村女性のネットワークを広げよう

自分の活動に関連する分野の知識を広げるために、地域等で開催される研修会や交流会イベントに参加しませんか。そこで知り合った仲間とネットワークの輪を広げることも、女性の活動しやすい環境づくりに大変重要です。

以下に農山漁村パートナーシップ推進宮城県大会共催団体の活動の一部を紹介します。活動を広げたい方は、それぞれの団体に気軽にお問合せください。

(1) 宮城県生活研究グループ連絡協議会

農山漁村でよりよい生活や地域の活性化を目指し、活動する女性たちの組織です。各地域で、農産物の消費拡大、伝統料理の継承にむけて自己研鑽を図っています。



令和6年度研修大会（R6. 5月）

(2) JA（農協）女性部

JA女性部とは、JAをよりどころとして食や農、くらしに関心のある女性が集い活動する組織です。

農家であるなしに関わらず誰でも気軽に参加でき、メンバーは20～90代まで幅広い世代の人が活動を展開しています。

主に食農教育や助けあい活動（高齢者福祉）、料理や手芸などの趣味、健康維持向上のための運動などに取り組んでいます。



令和6年度JA女性部リーダー研修会
（R6. 7月）

(3) JF（漁協）女性部

宮城県漁協女性部連絡協議会は、漁協の組合員またはその家族である女性を中心に“私たちにできることからはじめよう！新しい女性部活動～浜に活力と明るい未来を～”を合言葉に、強い意志を持ち、今だからできる事を女性部員一人一人が前向きに活動している組織です。



海難防止講習会（海上保安部指導のもと縄梯子作成）
（R6. 10月）

(4) みやぎアグリレディス21

宮城県内の女性の農業委員、農地利用最適化推進委員で結成しています。組織の活動はもとより、各市町村農業委員会においても、自分たちで出来ることから活動を広げ、地域から「身近で頼られる存在」を目指して活動しています。



令和6年度総会・女性委員研修会（R6. 6月）

基調講演

「森・里・海 地域資源を活かし尽くすまちおこし」 ～女性ならではのアイデアが町にひとを呼び込む～

講師

金比羅丸代表
(南三陸海しょくにん 副代表)

たか はし なお や
高橋 直哉 様

＝講師の略歴＝

金比羅丸代表として、南三陸町で、ホタテ・カキ・ワカメを主要とした養殖業に加え「ブルーツーリズム」を経営に取り入れています。また、漁業経営の傍ら、一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン理事、「南三陸海しょくにん」副代表、南三陸を化石で盛り上げる会「Hooks」代表、「みなみさんりく発掘ミュージアム」代表、南三陸文化財保護委員等の役を担い、南三陸町の地域資源を活かし尽くしたまちおこしに取り組んでいます。



農山漁村女性の活動発表



気仙沼地区生活研究グループ連絡協議会前会長
気仙沼市農業委員会会長

み うら えつ こ
三浦 悦子 様

夫の両親からブロイラー経営の継承を打診されたことを契機に、昭和60年、就農を決意しました。平成13年には自身が認定農業者となり、鶏舎を更新して規模拡大を図り、夫と二人三脚で安定経営を実現しました。

ブロイラー生産組合の婦人で結成した「川内ブロイラー婦人部」の活動は、地域との交流とブロイラーへの理解の醸成に繋がるとともに、生活研究グループ連絡協議会への加入によって研鑽し合える仲間を得ることができました。平成13年には県連の会長に就任し、県内外での活動を通じて、グループ員の資質向上や活動の活性化に取り組みました。

平成13年には本吉町（現気仙沼市）で初めての女性農業委員に、平成17年には町議会議員となり、女性の視点や発想を生かして町政に参画し、令和6年には気仙沼市農業委員会会長となりました。みやぎアグリレディス21では副会長を務め、会員同士の交流や研修に力を注ぐとともに、県内女性農業委員が不在の市町村をゼロにするなど男女共同参画の推進に取り組みしました。

令和6年度宮城県農業・農村女性活躍表彰【受賞者の活動概要】

◆宮城県農業・農村女性活躍表彰とは

平成2年度から始まった農村女性の活動を表彰する宮城県独自の事業「農業・農村活性化女性グループ等表彰」が令和2年度に名前を変え、「宮城県農業・農村女性活躍表彰」として継続しています。農業・農村において社会参画や起業等で活躍する女性の個人やグループ等を表彰しています。

最優秀賞

女性地域社会参画部門（個人）

かく だ ま ゆ み
角田 真由美 様（大河原町）

認定農業者であった父の後継者として就農し、父・母・本人の3名による家族経営協定を締結して経営に参画しました。農業と子育てを両立しながら、地域の子供たちへの読み聞かせなどの活動に積極的に関わり、現在は、両親の経営を引継ぎ、配偶者とともに認定農業者として経営の中心を担っています。

地域活動への積極的な参加や地域農業の推進役としての活動が評価され、平成26年に大河原町議会の推薦を受けて、初の女性農業委員に就任されました。さらに、みやぎ仙南農業協同組合の理事や黒沢尻用水路土地改良区で初の女性理事にも就任するなど、先駆者として女性の社会参画への道筋を示したことは、女性登用に向けた今後の波及効果が大いに期待されます。

令和4年度には、自身が理事を務める「農事組合法人かながせ」の女性初の代表理事となりました。法人の運営においても、地域住民との調整や何でも話せる職場の雰囲気作り、従業員の働きやすい環境整備など、精力的に活動しており、地域を牽引するリーダーとして頼もしい存在です。



お問い合わせ先

農業で頑張る
女性を応援

農業改良普及センター

農業技術・農業経営全般の御相談、生活研究グループに関するお問い合わせはこちらへ

宮城県大河原農業改良普及センター	地域農業第二班	TEL 0224-53-3519
宮城県亘理農業改良普及センター	地域農業班	TEL 0223-34-1141
宮城県仙台農業改良普及センター	地域農業班	TEL 022-275-8320
宮城県大崎農業改良普及センター	地域農業班	TEL 0229-91-0727
宮城県美里農業改良普及センター	地域農業班	TEL 0229-32-3115
宮城県栗原農業改良普及センター	地域農業班	TEL 0228-22-9437
宮城県登米農業改良普及センター	地域農業班	TEL 0220-22-8603
宮城県石巻農業改良普及センター	地域農業班	TEL 0225-95-7612
宮城県気仙沼農業改良普及センター	地域農業班	TEL 0226-25-8068

農業協同組合 JA女性部に関するお問い合わせは最寄りの農協へ

宮城県農業協同組合中央会	組織対策部	TEL 022-369-7301
仙台農業協同組合	営農部営農企画課	TEL 022-236-2413
名取岩沼農業協同組合	総務部企画管理課	TEL 022-384-5111
みやぎ亘理農業協同組合	営農部営農対策課	TEL 0223-34-0388
みやぎ仙南農業協同組合	総務部くらし相談課	TEL 0224-55-1265
古川農業協同組合	総務部組織広報課	TEL 0229-23-6511
加美よつば農業協同組合	管理部総務課	TEL 0229-66-1222
新みやぎ農業協同組合	総務部組織広報課	TEL 0228-25-9031
みやぎ登米農業協同組合	経済部あぐり推進課	TEL 0220-23-9815
いしのまき農業協同組合	総務部総務課	TEL 0225-22-1111

農業会議・農業委員会 農業委員・推進委員の応募と農業者年金のご相談はこちらへ

宮城県農業会議・市町村農業委員会	農業委員会は各市町村（女川町を除く）の市役所・役場にありますが。
一般社団法人宮城県農業会議 総務部	TEL 022-275-9164

漁業協同組合 JF女性部に関するお問い合わせは最寄りの組合へ

◎宮城県漁協女性部連絡協議会	TEL 0225-21-5740
●北部地区漁協女性部連絡協議会	TEL 0226-26-4720
○唐桑支所女性部	TEL 0226-32-3180
○気仙沼地区支所大島女性部	TEL 0226-28-2002
○大谷本吉支所女性部	TEL 0226-44-2221
○歌津支所女性部	TEL 0226-36-2002
○志津川支所女性部	TEL 0226-46-2800
○志津川支所戸倉女性部	TEL 0226-46-9211
●中部地区漁協女性部連絡協議会	TEL 0225-24-1145
○雄勝町東部支所女性部	TEL 0225-61-3025
○網地島支所女性部	TEL 0225-49-2211
○表浜支所女性部	TEL 0225-46-2136
○石巻市東部支所女性部	TEL 0225-90-2131
○石巻湾支所女性部	TEL 0225-24-2111
●南部地区漁協女性部連絡協議会	TEL 022-361-9210
○塩釜地区支所浦戸東部女性部	TEL 022-369-2111
○塩釜地区支所浦戸女性部	TEL 022-369-2211
○七ヶ浜支所女性部	TEL 022-349-6222
○亘理支所女性部	TEL 0223-35-2111

漁業で頑張る
女性を応援

本パンフレットに関するお問い合わせ

宮城県農政部農業振興課

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号

(令和7年1月発行)

TEL 022-211-2836 FAX 022-211-2839

ホームページ <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosin/>